

輝いている人

消防活動の中には

大学にはない出会いがたくさんある



岡山県立大学消防応援隊・市消防団員として活動

藤川 萌寧さん（総社2丁目）

県立大学の学生消防応援隊であり、総社市の消防団にも所属し幅広い消防活動を行っているのが、県立大学4年の藤川萌寧さんだ。

を行うのが主な活動。「女性ならではの活動なので、体力的にきついことはない」そう。若い人にもぜひ入団してほしいと言う。

消防応援隊は、消防・防災に関する知識の習得や学内外で啓発イベントなどを行う団体。藤川さんは保健福祉学部で学んでいることもあり、「消防活動を通して実践的に地域福祉を学べる」と思い入隊し、4年間活動を続けてきた。毎年構内で行われる防火訓練では、小柄ながら重いホースを握り放水したこともあると言うので驚きた。

消防活動をやっている間に良かったのは、「大学と家の往復では絶対に出会えなかった人たちとつながれたこと」。消防団員や消防職員、地域の子どもや高齢者など、さまざまな人と知り合えたそう。

市の消防団には、防災士の資格を取得するため消防本部で救命講習を受けた際、女性団員の存在を知って入団した。男性のイメージが強い消防団だが、女性は保育園での防火教室や高齢者宅を訪問して防火診断など

大学卒業後は地元の兵庫県に戻り、児童福祉所として児童相談所で働く予定。昔から子どもが好きで、虐待を受けている子を救いたいと思っていた藤川さん。「子どもを支え、良い方向へ引っ張ってあげられる大人になりたい」と力強く語ってくれた。子どもの命と暮らしを守る仕事には、消防活動で培った経験が必ず生きてくるだろう。